

試みました、其結果は重曹が目立つて色がよくありました、其他には皆同じやうでした、銅を入れる實驗はまだ一度しか致しませんので確にはわかりませんが色には銅はさほど關係ない様であります。

要するに此の幾度かの實驗によりますと重曹が最も早く煮えて色がよいといふ事はたしかで御座います、食鹽も大して悪いと云ふのではありませんが世間でいふほどの好果はないやうでございます、とにかく蓋をするといふ事と煮汁の中にながくつけて置く事と色の悪くなるといふが主な原因となるやうであります。

全體に通じて重曹を入れましたものはゆで汁が大層色がつきました之れは色をよくする事に大に關係があると存じます、しかし此度はそこまで深く實驗はいたしませんでした、いつたい食物は先づ目にふれて人の感情を支配するものでございますから、お茶ばかりにとゞまらず他の食物につきましても、もつと研究いたしたいものでございます、又只色のみでなく形などにつきましても配合を考へましたならばきつと種々な面白い事が見出されると存じます。

婦人の職業

近來雑誌や新聞に婦人職業問題といふ字が目を惹くやうになつて來ました。又昨今の生活難につれて、假令女子と云へども働き得る年齢に達したものが、安閑として居られなくなりましたので、三四年此の方、女子の就職する者が非常に多くなりました。例へば、女店員の募集を十名許りと出しますと、二十倍も押し寄せて來るやうでございます。

そこで、婦人職業問題は目下の思潮と見る事が出來ますから、それについて研究して見るのも面白いではないかと思ひ付いたので御座います。それで職業の種類を掲げて見ましたら、其の多いのに驚きました。

一、本職

収入一定せるもの、女店員、教師、事務員、女優、交換手、記者、看護婦、電信局、爲替貯金局の判任官

収入一定せざるもの、産婆、女髪結、女醫、機織、下宿屋の女主人、裁縫、刺繡、

編物、茶の湯、琴三味線の師匠、工女(製糸製紙)

二、内職……………裁縫、洗張、造花、刺繡、編物、養蠶、其の他雜(箱張袋張

この外皆さんも御存じの通り女の内職としては様々のか澤山ありますが、餘りごたくいたしま
すからこの位にしてをきませうと思ひます。主なるものだけ左に掲げてみませう。

一、女店員 之は三越呉服店に就いて伺つたのでございますが他の店の女店員につきましても大
した差はないだらうと存じます。

販賣係

1、處屬

調査係

電話交換係

2、用務

イ、販賣係 御承知の通り客に接して品物を販賣するもの

ロ、調査係 賣上の傳票のしらべ

仕立物の検査 模様の間違はないか

丁寧にするべきところが粗漏になつて居ないかと云ふやうなこと

又お客の相談對手ともなります

ハ、交換係

店内電話の交換のみならず電話で客と應對いたします、それで商賣上の知識が

なければならずこゝが普通の交換手と異るところであります

此係に二十名内外を使用してゐます

3、人数 三部を通じて五六十人位

4、出勤時間 午前八時半ごろから午後六時前後まで

5、休日 月に二日、幾日と云ふことは其時によつて定められるものでありまして店の差支に
ならぬやう大勢一度に休むことはありません

6、教育程度 主として小學校卒業又は尋常小學校卒業で高等女學校程度を経たものは殆どあ
りません、蓋し家庭の事情からかう云ふやうになるのでありまして女店員となる者
は大てい中流以下の家庭に育つものであるからであります

7、年齢 大てい十六七才以上三十才位まで
但し調査係には三十才以上の人も多くあります

8、境遇 大てい中流以下の娘でありまして父母が中等教育を受けさせる丈の資力のないも
のが結婚まで幾分収入の道を得やうとするものであります

又稀には家庭を持つて居る人もあります

6、入店手續 志望する者は大方店内の知人を頼つて何時とは限らず履歴書を差し出してをき

ます。もし缺員がある場合にはその人数だけ其中から適當と認むる者を選んで都合の可否を問ひ定められるのであります。志望者は絶えず多數にあるようでござい

ます。店内につとめて居る給仕人が相當の年齢に達して店員になる者が大分あります。

調査係の人は珠算に取りましては殆ど指が機械的にバチ／＼と動くほど熟練して居りましてこゝには特別に珠算の試験がありません。

10、給料 始めは日給でありまして月給に進むことは男子の店員と變りはありません。

日給の最低が三十五錢最高はきまりありません。

調査係には五十圓の月給を得る人もあるとの事でございます。

11、賞與 年に一回決算の時に店員の境遇と技倆とに應じて與へられます。

以上の他になほ當店には給仕人が居ります。十四五才の少女でありまして日給二十五錢より

三十錢位迄相當の年齢に達して店員にかはる者が多くありまして此時には三十五錢の日給を得ます。

一、電話交換手

初めは男子を交換手として使用して居りましたが明治三十五年頃より全部女子を採用

する様になりました。東京丈けでも千名以上もござい

1、資格 拾三歳以上從て尋常小學校卒業程度となりまして二十一歳迄で但し未婚者に限としてござい

2、試験 簡單なるもの其他體格検査がござい

ます合格者は京橋局内の養成所に入れ約一ヶ月間實地練習をいたさせます熟達いたしますればその人の住所附近に配布します。

一人前になりますには凡そ三ヶ月もかゝりますそれから配屬局にまゐりまして一ヶ月見習ひをさせられます。

3、勤務時間 晝間七、八時間

夜間勤務夕方より翌朝迄でございまして此間六時間の睡眠時間を與へられます。

4、給料 見習中は日給十八錢乃至二十錢

一人前になりますと二十三錢でそれに年二度に二錢づゝ昇給します。四五年後には四十五錢になります。この者は缺員が出來ますと主事補となります。

5、主事補 交換手一部の監督者となりまして尙ほ成績佳良になりますと書記補となります。これはもう判任官で月收三十圓位です。

6、特別收入 交換手主事補は日給六十五錢が上りでござい

ケ月四十錢乃至二圓の割増しとなります

7、賞與金 年三回一回分二、三圓から十五六圓に當ります

8、娯樂 には新聞雜誌樂器遊戯道具等をそなへてございます

娯として裁縫生花作法茶の湯などもございまして相當な取り扱ひをいたします

一、婦人記者

1、種類及び仕事 新聞記者と雜誌記者との二種があります、二者相違の點は主として仕事で

ありまして前者は外交、日々の出來事の探訪など

外交と申しましてもこれ等の人々の用ひる意味は何々會何々團と云ふやうなところ

へ出席してそれを實地に見聞し記事の材料とするのであります

後者は訪問(例へば名流の人間題の人など)寫眞の蒐集

原稿の整理(先づ投書などであれば各地から集まつて來たものを選者に渡し又選者

より受取つてその排列を適當にするのであります

廣告のとりまとめ等

I、執務時間 時間はきちんと定める事が出來ませんが、朝はよほどゆつくり出勤いたしますけ

れど夕方はいつすむとも限りませんことに訪問などになれば先方の都合にもよりま

すし新聞の方ですと出來事は晝とのみ限つて居りませんから夜の何時にでも出かけなければならぬとも限らないそうです

3、經歷

これこそほんとうに定まつて居りません

つまりこんな職業に従事する人は必ず先天的なる事を要しますので學問教育として大學を出たからとか高等師範を出たからとてそれが必ずしもなれると云ふものではありませんそして記者は著作家と云ふやうなものとは異つて人の云ふ名文とか詩の才に富んで居る文章だとか云ふやうなものには及ばないのであります筆のたつ人であつて其上に交際上手とか機敏な觀察眼を有して居るとかいふやうな才がほしいのであります

4、境遇

大ていは未婚の人でありましてパンの代を得る爲に働いて居ります、中には己の才にまかせて面白半分に履歴書を出してなつてゐる人もありますけれども不成功に終る人が多いのでございます、又既に人の妻となつて居る人で極く稀には此記者となつてゐる人もありますけれどもそんな人の夫は大てい矢張り新聞とか雜誌とか云ふ方に働いて居る人でございます

5、收入

社によつて月給によつて雇ふ所と報酬によつて雇ふ所とあります、そしてそれは決

つして一様ではありません
月給ですと初心の者で大てい二十圓位だん／＼上つて五十圓六十圓と限りはありま
せん

報酬としては或仕事一つに對してその難易により相當の金高を與へられるのであり
ます

月給にしましても報酬にしましても一つの雜誌なり新聞者なりにかちりついて居る
ものではありません一人で二ヶ所又は三ヶ所を受け持つて居るのが普通のやうであ
りますから勿論其人一人については日々いくらの収入があるとは申されませんがそれ
で敏腕家ほど収入が多いとでも申しませうか

此外大ていは内職として作物をいろ／＼な新聞なり雜誌なりに寄稿して原稿料を得
るのであります

世の中には虚榮の爲めにこの記者になつてみたいと志望して居る人もあるやうですけれど記
者になどなつてなまぢつか社會だの人生だのを知つて生きたもの、中に働くのはむしろ苦痛
でありますと婦人記者は申して居りました

まだ澤山ありますけれども本職の方はこれでやめて置きませう。

一、養蠶

1、養蠶一般につきて

養蠶業は普通重に男子が行ふものでありますが女子にも又大いに適當した仕事でございます
何となれば總べて養蠶のみに關せず製糸業にても非常に緻密を要する仕事でありますから其
の天性を有して居る女子には最も適して居る仕事であります

女子が此養蠶を家庭で行ふに付きました之を専門と致しますよりも副業として家族的に老人
や子供を相手にして營む時は利益の多いものであります而して此の養蠶は非常に熟練と經驗
とを要する業務でありますから一方學理によつても鑑みなければ到底充分の好結果を得る事
が困難であります學理と申しましては普通蠶兒飼育法蠶室蠶具の取扱ひ蠶體生理上簇中の取
扱ひ蠶種の保護其他桑葉の肥倍等實地に付き學理と合せて研究致しますのであります

信州地方に於きましては蠶糸業の本場てありますから婦女子にても男子と共に養蠶をなし或
は他に日雇となりて従事致すそうでございます信州は財界豊であると申しますが其原因の一
つは之であります

其収入は一例を上げますれば

普通種紙一枚(廿八蛾附)で繭三斗五升を得らるゝすれば其價繭一升を五圓と見ましても十

七圓五十錢となります之に腐繭及玉繭を混じりますとそれ以上になります而し桑を買ひ人を雇ひて何でも買ふていたしますと其儲けは割合に少ないのであります三等の養蠶は春五月頃より夏九月頃迄春夏秋冬の三期にわたつて飼育致しますれば利益のあるものであります其後の日月は他の職業をする事が出来たから誠に好都合かと存じます

2、普通製糸工場に於て働く工女につきて(長野縣調べ)

これ等の製糸工女は其工場にて他より雇入れたる者であります自家より通勤する者と遠國より來りて寄宿舎に集容するものとの二つが有ります然して一年中二百五十日位は仕事に従事致します残の日は冬季嚴寒のため仕事が出来かねますから休みます其他臨時の休業がございますそして夏の日のながび時には午前四時乃至五時より午後七八時頃まで日の短い時でありまして午前六時頃から午後八時乃至九時頃迄は従事致します其仕事は普通の良繭より糸を繰り取るのでありますそうして五十人乃至百人が一團となつて働くのであります

而して普通之等の工女を取り締るために視業員をおきまして又處によりましては教婦と云ふ者を置く處もあります此の視業員乃至教婦は工女を取り締ると同時に作業中の缺點をなほし又出来上りたる生糸の良否を検査し或は生産高を調べて工女各自につき其成績を調査するのであります現今何れの工場でも日を定めて終業後修養に關する講話をなし或は所によりては

女子に必要な學問技藝を教へて居るようであります

一體此の製糸業なるものは非常に技術の上にて於て熟練を要するものでありまして賃金等も其優劣によりてそれ〴〵大差があるのであります

今信州普通の工場に於て支拂ふ處の賃金は普通工女にて一日三十錢位優等の者にては一日五六十錢になるそうです尤も食費は工場の負擔であります彼様な優等の工女は稀でありますつひでに現今製糸工場では非常に女工の缺乏を來して居るようでございます

春秋二回位運動會等を催すとか又は時々茶話會を催すとか或は一定の遊戯時間を與へ運動させるとか其他模範工場等でありますと娛樂室を設けて隨意にさせる等の方法を取つて居ります又皆勤賞や精勤賞をも時々與へ勉強せしむるのであります

工女の養成は各工場で行ふて居るようであります之は少年の頃から教へますと上達も早く夫れ〴〵理想通りに教へる事が出来たから普通尋常小學卒業位より十七八才位の者のみを雇ひ入れて技術は勿論之に關係した學理其他行儀作法其他女子に必要な技藝等を學ばしむるそうであります之は六ヶ月乃至は一ヶ年で修了せしめ後之を一人並として普通使用するようであります長野の如きは縣の事業として教師を數多雇ひ入れ各工場に派遣し或は巡回せしめて之が養成につとめて居るのであります而して此の工女を養成する間は賃金とては少しも與

へませんが食費は工場の負擔であります

3、自家に於て製糸を行ふものにつきて

自家に於て冬季寒冷なる場合に女子の仕事として屑物整理を行ふものがあります之は普通養蠶家が收得したる上繭以外の繭即ち汚繭及び繭其他玉繭より座繰機械にて製糸をなし或は眞綿を製造する等であります之等も、婦女子の仕事として副業に致しますと利益の少くないものであります普通玉繭等も上等なものでありますと上繭以上に割のよいものがあります百匁につき三圓五十錢より四圓位のものがあります汚繭等もこれを糸といたしますれば内地向の織物としては立派なものが出來得るのであります、其他屑繭は之を眞綿として賣るもよろしくチョッキや胴着肩掛等をつくり賣り出しますと非常に利益ある仕事の由です

4、其他蠶業に關する女子の職業

蠶業に關してなほ女子のなす所の蠶病取締吏員なるものがあります、これは高等小學卒業以上の學力ある女子でありまして三ヶ月乃至六ヶ月間必要なる學科及實習をなし驗定試験を受けます其の必要なる學科といたしましては養蠶法一般、蠶體病理、生理、解剖、顯微鏡使用法其他必要なる普通學等であります此業は數年前までは男子がいたしました様ですが現今では主に女子の手によつて爲されて居る様です之等の吏員は毎年七月頃より十月頃迄蠶病取締

所に於て蠶種及母蛾を檢查するのであります而して其の吏員の收入は普通一日四十錢位より七八十錢迄であります

一、女髮結

1、等級 一等、二等、三等、の三種があります

2、税金 一年に六圓

二等同 四圓

三等同 二圓

3、結賃 等級は税金によつて定まるものでありますそれは實際の技倆よりも名譽のために

するものが多くあります、それで結賃は等級によて定まるものではありません

先づ普通の髮結で

普通の日本髮——七錢から十錢位まで

島田ならば——二十錢

下梳から上つたばかりつまり三等の中でも下等の方で五六錢位

ずつと上等の髮結ならば島田などでは三十錢位であります

4、日にいくつ結へるか

下梳なしで十五位

下梳一人用ゐて二十位

一等髪結になりますと下梳は二人もしくは三人用ゐます、その時はそれに準じて數は多く結へます

5、年期 一人前の技倆を得るまでには弟子入してから五六年はかゝります

一、女 醫(女子醫學專門學校について)

1、入學資格 以前は小學校卒業者でも入學を許されて居たそうで御座いますが只今では女學校程度の卒業者に限るそうで御座います

2、修業状態 入學してから(以前は)豫備前期後期實地等の試験を受けねばならなかつたので何れも大變難かしかつたためになかなか骨が折れるそうで御座いますそして之等に合格いたします迄ではどんなに頭のいゝんでも大抵四ケ年はかゝるそうで人によりますと十一年もかゝつた事があるそうで御座います、只今では以上種々の試験は廢せられて卒業後醫師試験といふのを受ければいゝ様になりましたしかし之も仲々骨が折れるそうで御座います、又たとへ試験に合格いたしましたとしても其なり直ぐ開業するなどいふ事は出來難い事で少くとも三年位は研究の必要があるそうで

御座います

3、學資

學資は十五圓以上二十圓位で平均は一ヶ月廿五圓と見積ればよろしいとの事で御座います。卒業後研究のため有名な病院に雇はれて行く人の中少しばかりの收入を得る人もないでもありませんが大抵は研究の謝禮として月々納金すると申します

4、收入

支那等にまゐりますと比較的多くの收入があるそうで確とは申されませんがまあ一ヶ月一百圓位あるそうで御座います

開業いたしましたからの收入も其人の腕次第で又いろいろの事情のため一定の標準を立てられません、只今東京のある地で開業して居られる或る醫師は一ヶ月大抵三四百圓の收入があるそうで御座いますしかし此方はなかゝ多くの患者があるとか申す事で御座います

一、造 花

1、賣捌の時期

造花は先如何なる方面に何時如何なる所に用ひられるかと申しますと四季を通じて用ひられますが其中主として、春より秋にかけて多く尙年の暮より新年にかけても賣行きのよい時であります其花の盛りよりも一ヶ月位早くにまだ實物の出ない珍らしいといふ頃が最も用ゐる時

なのだ相で御座います造花屋では其賣れる頃になりますと早く前の年當りから山の様に造へて置いても瞬間に賣れ切れてしまつてそれは驚くばかりだとの事で御座います

2、賣れ行く種類

種々の造花中最賣れよきは春は櫻秋は紅葉の様なもの年の暮から新年にかけては梅とか福壽草とか水仙とかいふ様な類のもので大抵室飾りとするので御座います。ですから餘り丁寧な高價なものでなく手数の省けた極粗末なもので價等も廉なもので御座います、尙床飾りなどに用ひられるものは薔薇とか牡丹とかいふ類のもので之は床飾りとして一番よく用ひられます床飾りとする様なのは大抵造り方も丁寧に寫生風に出來て居るので御座います

3、收入

收入即ち賣り上高といふ様なことも調べて見度いと思ひましたがこれは他の商賣の様に統計的に分るものではないと見えて現に色々以上の事を聞いた家でも明瞭な事は一概に云はれぬと云ふて居ります何故ならば造花といふものは其時期があるし造る人の腕前にもより又其材料の良否にもより又其花の種類にもよります例へば蓮華草の如きものでもこれを造るには割に手数がかかるので御座います即ち小さな手のこんだものは一寸素人が見てはこんなものと思ふても實際はダリヤの如き一見美しく素人が見てはさぞむづかしかろうと思ふ様なものが

案外手易くて價も廉なので御座います。又裝飾用と床飾用とでも非常な差があるとの事で御座います、故に收入といふ點に至つては到底明かなる事が申されないで御座います造花は非常に近來流行して來て今では少し氣の利いた店では皆花を裝飾用として用ひて居るので御座います。此後も益々流行するであろうとの事で御座います

4、輸出

輸出される造花の中で主なものは櫻藤等でそれも極材料の粗末な裝飾用のもので御座います日本の造花は手間賃が非常に安いので外國では裝飾用として頗る需要が多い相で御座います

一、裁縫

1、内職の部

イ、境遇

境遇は中流又は中流以下の人が多く御座いまして比較的家事に暇があつて多少この道の心得あるもので御座います

ロ、月收

働き方によつて一様ではございませんが普通は十圓内外といふ事で御座います

ハ、年中に於ける仕事の多少

一年中で最も多い月は暮の十一、十二でございまして一二月と七八月とは比較的少うござ
います三四月は春着の準備五六月と夏着の準備九月十月は冬着の準備でかなりに仕事ござ
います概して申しますと年中仕事の絶える事は御座いません内職としては四五軒も得意が
ありますと年中仕事はあるとの事で御座います

ニ、各仕立物につきての勞力及賃金

綿入でございますと大抵は一日に一枚はゆつくり出来ます裕ならば一日に二枚單衣ならば
一日三枚位は出来ますこれもする時間によつてちがひますが普通に家事をすましてその餘
暇にして前に申した位で御座います又其人の手ぎはにもよりますそれから夜業をいたしま
すと多く出来ます

賃金も其材料によつて違ひます殊に此度調べましたのは普通の内職として居る方でも比較
的安い方たと申すこととでございまして一つ身三つ身の着物で木綿ならば十五錢位メリンス位
で十八錢から二十錢位まで御座います本裁裕の銘仙位で三十錢一寸した重物が六七十錢
縮緬か又は胴はぎのあるものですと一圓位でございまして帯はメリンスで二十五錢から三十
錢博多縞子になりますと一圓二三十錢もとります帯は手数が少い割に賃金が高うございま
して仕立屋の飯といはれる位ださうでございまして袴は小供の木綿袴で二十五錢から三十錢

2、本職の部

イ、境遇

單衣の上等物と羽織が四十五錢から五十錢位でございまして足袋は手数の割合に賃金が多く
て一足縫つて一錢二厘でございまして賃金も人によつて多少異なります

中流位で多くは獨身者未亡人でございまして

ロ、月收

月によつてちがひますが平均して三四十圓位はございまして

ハ、年中に於ける仕事多少

これは零内職と同じでございまして

ニ、各仕立物につきての勞力及賃金

内職よりは幾分高くなります小裁物で四五十錢中裁が六七十錢本裁で八十錢より一圓以上
でございまして羽織でも一圓五十錢位袴が一圓以上帯も八九十錢から一圓以上とります重ね
比翼などになりますと二圓以上とります

裁縫も歸人の職業としては収入の多いものでございまして

一、刺繻

1、境遇

中流以下の子女に多くありまして一般に婦人で獨立してこの職にあるものは少うございます
多くは人に雇はれて内職の様にして居りますそれは同業者の多いのと女子は種々の點から男
子に肩をならべてゆくに困難なる所の多いためでございます

2、修業年數

十一才から二十一才位まで

3、月收

一人前となつて他人の工場に雇はれて三十圓以上の収入がございます

4、賃金

地質圖案縫方によりまして一様ではございませんした仕事の三分の一は主人がとり三分の二
を得る事になつて居るとの事でございますそれから自分で獨立してすると大變な収入と
なるのでございます例へて申しますと紋一つ縫つても五十錢になるのでございます

5、一日の仕事

半袴ですと自分で糸をよつて三掛位糸をよらすすると五掛位出來ます紋ですと三つ紋で五
反位は縫ふといふ事でございます

一、産婆

産婆は俗に取り上げ婆といひます御承知の通り産婆の業は誠に重大なものでありまして其の産
婆の注意不注意は延いて其の親子の健否にも關し一生の幸不幸の原因ともなるものであります
故に産婆は多少學識をそなへ幾分か醫術の心得もあり又親切で同情深く且つ謹慎の態度を持ち
機敏伶俐な人であつてほしいのであります昔はたゞ自分の經驗よりして産婦や産兒の世
話をしたものであります但今日では産婆規則と云ふものがあつてみだりに此の業を營むことは
出來ない様になりましたその規則によりますれば一般に年は滿二十才以上で一ヶ年産婆として
必要な學術を修めた後産婆試験を受けた者に限るとなつて居ります故に之が志願者はそれぞれ
適當な場所で講習しなければなりません

東京では主な産科婦人科病院に産婆養成所なるものがありますその講習の學科は解剖學、生理
學、産婆術等であつて學理よりも實地に重きを置いて居ります

産婆の試験は割合に六ヶ敷いものでありますから大ていの者は此の養成所を卒業してからも或
は其の養成所の助手となつたり開業して居る産婆の手傳となつて其の術を研究するのでありま
す又愈々産婆試験に及第しても技術が不充分であるのと開業の時には相當の資力を要する所よ
りしてしばらくもとの助手などのまゝで修業を積むのもあります

産婆の収入は産婆の多少及び其の謝禮の如何によつて一定して居りませんが毎月平均して申せば少なくとも三十圓から四五十圓位多いのになれば三四百圓にも達するといふことです。これらの職業を女子がしだしたのは種々の原因がありませうがこれを大別すると次の

一、經濟上の壓迫

二、女子自身の思想上の自覺

の二つから來たものだらうと思ひます。時勢がこの様にしたものとすれば今後中流以下の女子を教育するにあたりせめて内職だけでもなし得る人となり尙境遇に依りましては本職までもなし得る融通のきく人に教育したいもので御座います。

くどくつまらぬ事を御話しいたしましてさぞ御退屈で御座いましたでせうが尙もう一つ是非聞いて頂きたいのは之等をしらべるについて私共は大變良い教訓を得ました夫れは私共は餘りに世事に暗くぼんやりして居ましたので如何な職業でも思ふ存分しらべられる事と思ひ込んで始めた所それは全く見當違ひで随分之れには苦心いたしました。丁度記者の所に訪ねた時斯様なことを云はれました。「貴女方は随分虫が良過ぎる人等だ貴女方自分の生活の内幕なんかさらけ出して話す親切者があるものですか、貴女方金のわらじはいて世界中を三度廻つてもそんな御親切者はあ

ませんよ。實際考へて見ますと非常識な淺薄者だと悟りまして檢べる事がはづかしくなりましたしかし折角思ひ付いた事ではあり且つ今後女子教育にたづさはらねばならぬ私共はこんな事を是非知つておく必要があると思つて苦しい所を忍んで此所まで漕ぎつけました。

禮服 ニツキテ

技藝科 一部三年

- 横山 エイ
- 南葉 コン
- 小村 コズエ
- 三宅 静子

私ドモハ禮服ニツイテ少シク調べたいと思つて始メシタガ餘リニ廣ク渡ツタ爲ニ十分ノ研究モ出來ズ皆様ニ御満足ヲ與ヘル程ノコトモ出來マセンデ遺憾デハアリマスガ自分ダケノ調べタ丈ノ大體ヲ表的ニ順ヲ追ツテ御話シ致シマシテ御參考ニ供シタイ考ヘデゴザイマス

普通ノ禮服

吉女 宮參、袴着、女子祝、結婚式、算賀ノ祝

凶女

和服

貴人ノ禮服

特種ノ禮服 祭服 僧侶ノ服